

「共に生きる」ために、私ができること

令和元年11月、書家の金澤翔子さんが来校した際に制作した作品『共に生きる』を、ランチルームに設置しました。この作品には、子どもも大人も、障害のある人もない人も、日本人も外国の人も「共に生きる」という願いが込められています。コロナ禍の生活から作品を見ると、言葉の意味が



広がって感じることでしょう。感染していても感染していなくても、元気な人もそうでない人も同じ人間です。子どもたちには、自分だけでなく他の人のことも考えて生活できる人になってほしいと願っています。その象徴である「共に生きる」という言葉は富岡小の大切な宝物です。

運動会・宿泊研修の代替活動や修学旅行の実施決定！

このたび、運動会の代替となる体育的行事「富小オリンピック2020」の開催を決定しました。この行事は、6年生が「動かなければ何も変わらない」という立場から、自ら実行委員会を立ち上げ、企画をしたものです。文部科学省が示した『衛生管理マニュアル「学校の新しい生活様式」』に基づき、安全を第一に配慮して行いますので、無観客の開催にもご理解願います。

また、6年生の修学旅行は2日間の日帰りの旅行として、5年生の宿泊研修は日帰りの校外学習として日程と行き先を変更し、『国内修学旅行の手引き（第3版）』に基づいて実施します。

富小オリンピック2020	6年生修学旅行	5年生校外学習
10月22日（木） 午前開催・公開無し・雨天順延 学年種目、高学年リレー 全員ソーラン、応援等	11月27日（金） 岐阜市・サマンカホール、県美術館 12月11日（金） 犬山市・明治村、犬山城他	12月4日（金） 大桑城跡、みやまジョイフル倶楽部 岐阜市少年自然の家 現地解散

いずれも、行事の目的を鑑み、代替の活動を通して、子どもたちに学習体験を味わわせるものです。学校ができるリスク管理として、感染防止対策を示した上で、お子さんの参加確認をいたします。ただし、リスクをゼロにすることは不可能であることと、今後の状況に応じて変更せざるを得ない場合もあることはご了承ください。代替の対応を変更する場合は、子どもたちや保護者の皆様とも協議をし、実施の可否について判断します。児童への安全対応については、学校において指導して見届けますが、次の「新しい生活様式」をご家庭でも話題にしていただけると有り難いです。

- ・集団行動中は適切に人との距離を取り、大きな声での会話も控える。また食事中は会話を控える。
- ・学校の内外に関わらず「新しい生活様式」を意識した行動をするようにする。
- ・手を拭くタオルやハンカチ等は個人持ちとするなど、物の共有をしないようにする。